



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

上場取引所

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	99,089	28.5	15,440	88.8	16,491	94.3	11,197	76.3
2026年3月期第1四半期	77,114	4.2	8,176	60.2	8,488	56.7	6,352	81.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 18,440百万円(720.2%) 2026年3月期第1四半期 2,248百万円(△68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	136.99	—
2026年3月期第1四半期	77.75	—

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	407,233	191,938	46.7
2026年3月期	383,881	177,502	45.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 190,017百万円 2026年3月期 175,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	105.00	165.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	52.50	—	52.50	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2026年3月期の配当金は、第2四半期末が30円、期末が52円50銭、年間合計が82円50銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	11.7	41,000	32.8	41,500	25.3	28,000	27.4	342.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	82,808,522株	2026年3月期	82,808,522株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,052,280株	2026年3月期	1,066,720株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	81,743,222株	2026年3月期1Q	81,698,402株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～6月30日)における日本経済は、消費の増加が続いたほか、米国向けを中心とした輸出の持ち直しもあり、引き続き緩やかな回復傾向にあります。またインバウンド需要も好調に推移しています。

海外経済は、米国で底堅い成長が続いていますが、欧州は回復に足踏みがみられます。中国は内需の減速などで持ち直しが鈍化しており、不動産市況も引き続き懸念材料です。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 累計期間(a)	2026年3月期 第1四半期 累計期間(b)	2027年3月期 第1四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①－(a)	前年同期 増減 ①－(b)
売上高	74,040	77,114	99,089	25,049	21,975
営業利益	5,104	8,176	15,440	10,335	7,263
%	6.9%	10.6%	15.6%	8.7pt	5.0pt
経常利益	5,415	8,488	16,491	11,075	8,002
%	7.3%	11.0%	16.6%	9.3pt	5.6pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,492	6,352	11,197	7,704	4,845
%	4.7%	8.2%	11.3%	6.6pt	3.1pt
換算レート					
USD (円)	155.9	144.6	159.6	3.7	15.0
EUR (円)	167.8	163.8	185.4	17.6	21.6

エモーショナルバリューソリューション事業は、ウオッチ事業が国内、海外とも売上高を大きく伸ばし、和光事業も好調に推移しました。デバイスソリューション事業の売上高も前年同期を大きく上回り、また、システムソリューション事業の売上高も前年同期を上回りました。その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、990億円(前年同期比28.5%増)となり、大幅に増加しました。

連結全体の国内売上高は495億円(同21.2%増)、海外売上高は495億円(同36.7%増)となり、海外売上高割合は50.0%でした。

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、広告宣伝販促費や人件費が前年同期に対して増加したことなどにより323億円(同17.4%増)となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、デバイスソリューション事業も増益となったことから、前年同期から72億円増加の154億円(同88.8%増)となりました。営業外損益は、持分法による投資利益の増加等により前年同期から7億円改善し、経常利益は前年同期を80億円上回る164億円(同94.3%増)となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、48億円増加の111億円(同76.3%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル159.6円、1ユーロ185.4円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業（EVS事業）

EVS事業の売上高は前年同期比170億円増加の672億円（前年同期比33.9%増）、営業利益は前年同期比62億円増加の139億円（同81.0%増）となりました。

ウオッチ事業の売上高は、国内、海外ともグローバルブランドである「グランドセイコー」、「セイコープロスペックス」、「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」が好調に推移し、前年同期から大幅な増加となりました。国内は内需、インバウンド需要とも好調に推移し、海外も、米州、欧州、アジアの各エリアで伸長しました。また、和光事業の売上高も、「グランドセイコー」をはじめとするウオッチを中心に前年同期から大きく伸長しました。

② デバイスソリューション事業（DS事業）

DS事業の売上高は前年同期比40億円増加の204億円（前年同期比24.9%増）、営業利益は前年同期比12億円増加の23億円（同109.3%増）となりました。

医療向け酸化銀電池を中心とした小型電池、AIサーバやデータセンタ、光通信市場の拡大を背景とした水晶発振器用ICが大きく伸長し、高機能金属、水晶、自動車部品、サーマルプリンター、インクジェットヘッドも前年同期から売上高が増加したことなどから、デバイスソリューション事業は前年同期から大幅な増収増益となりました。

③ システムソリューション事業（SS事業）

SS事業の売上高は前年同期比10億円増加の137億円（前年同期比8.1%増）、営業利益は前年同期並みの9億円（同0.2%増）となりました。

前年度から引き続きITインフラ関連やセキュリティ関連ビジネスが堅調に推移したほか、外食チェーン向けオーダーエントリーシステムも伸長し、セイコーソリューションズ㈱の事業は41四半期連続で増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,072億円となり、前年度末に比べて233億円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が49億円、受取手形、売掛金及び契約資産が60億円、棚卸資産が12億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より129億円増加し2,008億円となりました。固定資産では、投資有価証券が95億円増加したことなどにより、固定資産合計は前年度末と比べ104億円増加の2,063億円となりました。

（負債）

負債につきましては、短期借入金が93億円増加したことなどにより借入金合計は1,051億円となり、負債合計は前年度末と比べ89億円増加の2,152億円となりました。

（純資産）

純資産につきましては、株主資本が71億円、その他有価証券評価差額金が58億円、為替換算調整勘定が12億円増加したことなどから、純資産合計は前年度末と比べ144億円増加の1,919億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、EVS事業とDS事業が前年同期と比べ大幅な増収増益となったことから、通期連結業績予想および通期セグメント別業績予想について、下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026年5月13日)	358,000	33,500	34,000	23,000	281.37
今回修正予想(B)	375,000	41,000	41,500	28,000	342.50
増減額(B-A)	17,000	7,500	7,500	5,000	61.13
増減率(%)	4.7	22.4	22.1	21.7	21.7

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売 上 高		営 業 利 益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	2,410	2,290	370	310
デバイスソリューション事業	805	735	64	43
システムソリューション事業	615	615	66	66
事業別合計	3,830	3,640	500	419
その他	45	45	1	1
連結合計	3,750	3,580	410	335

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部資本の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上としております。

当期につきましては、本日公表しましたとおり、通期の連結業績予想が前回予想を上回る見通しであることから、当期の配当予想を前回予想から1株当たり15.0円（第2四半期末7.5円、期末7.5円）増額し、年間配当金を1株当たり105.0円（第2四半期末52.5円、期末52.5円）に修正いたします。

【配当予想】

基準日	年間配当		
	第2四半期末	期末	合計(年間)
前回予想 (2026年5月13日公表)	45円00銭	45円00銭	90円00銭
今回修正予想	52円50銭	52円50銭	105円00銭
前期実績 (2026年3月期) (株式分割後換算)	60円00銭 (30円00銭)	105円00銭 (52円50銭)	165円00銭 (82円50銭)

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2026年3月期の配当金は、第2四半期末が30円、期末が52円50銭、年間合計が82円50銭となります。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,487	48,470
受取手形、売掛金及び契約資産	45,720	51,774
棚卸資産	85,579	86,827
未収入金	4,520	3,545
その他	10,475	12,183
貸倒引当金	△1,867	△1,957
流動資産合計	187,914	200,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	86,119	86,474
機械装置及び運搬具	96,558	97,533
工具、器具及び備品	47,096	48,053
その他	19,545	19,794
減価償却累計額	△189,272	△191,698
土地	52,879	52,888
建設仮勘定	1,437	1,734
有形固定資産合計	114,365	114,780
無形固定資産		
のれん	6,091	5,716
その他	13,921	14,595
無形固定資産合計	20,012	20,311
投資その他の資産		
投資有価証券	49,545	59,085
繰延税金資産	2,618	2,730
その他	9,571	9,626
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	61,589	71,296
固定資産合計	195,967	206,388
資産合計	383,881	407,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,322	29,213
短期借入金	42,569	51,907
1年内返済予定の長期借入金	28,605	29,248
未払金	15,098	11,446
未払法人税等	6,743	4,630
賞与引当金	6,595	3,731
その他の引当金	978	1,083
資産除去債務	513	521
その他	27,191	30,223
流動負債合計	156,616	162,005
固定負債		
長期借入金	24,308	23,999
繰延税金負債	4,023	7,712
再評価に係る繰延税金負債	3,720	3,720
その他の引当金	1,260	1,390
退職給付に係る負債	5,153	5,122
資産除去債務	706	692
その他	10,588	10,650
固定負債合計	49,762	53,289
負債合計	206,378	215,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,259	7,259
利益剰余金	115,182	122,359
自己株式	△1,318	△1,301
株主資本合計	131,124	138,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,999	16,823
繰延ヘッジ損益	△48	△82
土地再評価差額金	8,083	8,083
為替換算調整勘定	25,935	27,207
退職給付に係る調整累計額	△311	△332
その他の包括利益累計額合計	44,659	51,699
非支配株主持分	1,719	1,921
純資産合計	177,502	191,938
負債純資産合計	383,881	407,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	77,114	99,089
売上原価	41,390	51,306
売上総利益	35,723	47,783
販売費及び一般管理費	27,546	32,343
営業利益	8,176	15,440
営業外収益		
受取利息	126	146
受取配当金	423	452
持分法による投資利益	185	770
為替差益	-	143
その他	195	185
営業外収益合計	931	1,698
営業外費用		
支払利息	350	374
為替差損	9	-
その他	260	272
営業外費用合計	620	647
経常利益	8,488	16,491
特別利益		
固定資産売却益	561	-
特別利益合計	561	-
税金等調整前四半期純利益	9,049	16,491
法人税等	2,591	5,096
四半期純利益	6,458	11,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	106	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,352	11,197

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	6,458	11,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,558	5,768
繰延ヘッジ損益	△37	△34
為替換算調整勘定	△653	1,070
退職給付に係る調整額	△62	△26
持分法適用会社に対する持分相当額	101	268
その他の包括利益合計	△4,210	7,045
四半期包括利益	2,248	18,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,079	18,238
非支配株主に係る四半期包括利益	168	202

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,490	15,150	11,831	76,473	508	76,981	132	77,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	691	1,201	858	2,751	417	3,168	△3,168	—
計	50,181	16,352	12,690	79,224	926	80,150	△3,036	77,114
セグメント利益	7,726	1,129	976	9,832	57	9,889	△1,712	8,176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額132百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△1,712百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等280百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,851百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーソリユ ーション事業	デバイスソ リユース ン事業	システムソ リユース ン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,565	18,552	13,248	98,367	569	98,936	153	99,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	635	1,868	466	2,971	573	3,544	△3,544	—
計	67,201	20,421	13,715	101,338	1,142	102,481	△3,391	99,089
セグメント利益	13,984	2,364	978	17,326	104	17,431	△1,991	15,440

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額153百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。

(2) セグメント利益の調整額△1,991百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等180百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,867百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	3,392百万円	3,531百万円
のれんの償却額	345百万円	375百万円